

令和3年3月31日

士幌町長 小林 康雄 殿

士幌町環境マネジメントシステム監査チーム

主任監査員 東村達夫

副主任監査員 貝守良光

副主任監査員 小澤はる奈

環境監査報告書

LAS-E実施項目の監査結果について、以下のとおり報告いたします。

1. 監査日程

令和2年12月21日（月）～令和3年1月20日（水）

2. 監査対象

本庁舎：7 実行部門、外部施設：9 実行部門、教育施設：5 実行部門

計 21 実行部門

および環境政策推進本部長、副本部長、事務局

3. LAS-E 監査内容

【重点項目監査】

- 1 役場全体および各課のマネジメント
- 2 役場全体および各課のアクション
 - ① 仕事の改善による省エネ・省資源
 - ② 地域環境保全・本来業務での取り組み（SDGs への認識）
 - ③ 独自の取り組み
- 3 ガバナンス（コミュニケーション・協働）

参考：LAS-E共通実施項目

第1 ステージ

1-1～1-30（1-12、1-23、1-30 を除く）計 27 項目相当

第2 ステージ

2-1～2-6、2-8～2-10、2-12、2-14～2-17、2-21、2-22、2-25～2-30

計 21 項目相当

4. 総合所見

今年度は新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点から、現場監査及び集合監査は実施せず、実行責任者が監査チェックリストに回答を記入し、その書面をもって監査チームメンバーが評価する形式で監査を実施しました。

その結果と評価は以下の通りです。

取り組み状況については、運用の手引きに記載された取り組みが着実に実践されていました。すぐれた取り組み（◎）として 8 項目が選定され、要改善事項（△）はありませんでした。◎評価の取り組みの多くは、独自の環境配慮の取り組みでした。部署の業務の特性を反映し、その中で省資源の工夫をしているもの、施設の特性を生かし、資源循環や子供向けの取組を行っている事例を高く評価しました。

また、コロナ禍の影響で計画通りの事業ができなかったことに対して、代替措置を実施したり次年度の計画をすでに検討していたりと、新たな展開も見られました。SDGs の「統合性」を意識することで、既存の事業が直接関わる課題だけでなく、間接的に影響する課題に対する別のアプローチが見えてくることもあります。今般のコロナ禍に限らず様々な阻害要因が生じた際に、事業の目的を俯瞰的に捉えることで柔軟に対応していただくことを期待します。

以下、項目別に詳細を述べます。

1. 役場全体及び各課のマネジメント

新型コロナへの対応のため、環境負荷の削減・増大の両面で影響が現れています。監査チェックリストへの回答では、環境負荷の増減とその要因について記述されていたものの、その結果を受けた翌年度以降の対応については、ほとんど言及がありませんでした。今年度中のコロナ対応による変化の中には、一時的なものと今後も継続されるものがあると思います。リモート会議などの新たな手法は、業務効率化とコスト削減のためにコロナ収束後も積極的に活用されるのが望ましいでしょう。そうした個々の状況を踏まえ、翌年度以降のエネルギー・廃棄物等の目標や取組の設定に反映していただきたいと思います。

また、町長・副町長が町政における SDGs の活用を強く認識していらっしゃるのと、近年の LAS-E 監査や職員研修で繰り返し伝えてきたことから、各部署で SDGs に対する認識が高まりつつあるようです。現場監査に替えて職員を対象とするアンケートを実施したことで、部署ごとに十分に認識・実践できている項目と、さらなる意識高揚が必要な項目が明らかになりました。各実行責任者には、この調査結果を踏まえて重点的に扱うべき事項を定め、職場研修の中で意識統一が図られるよう工夫していただくことを望みます。

2. 役場全体及び各課のアクション

監査対象となった部署・施設では、運用の手引きに沿った環境配慮行動がしっかりと実行されていました。新型コロナの影響では、出張が減ったことによる燃料消費と排気ガスの削減を挙げた部署が多くありました。

今回の監査では、昨年度に全庁的に取り組んだ「マイ SDGs 宣言」の実施状況を確認する設問を設けました。多くの部署で、SDGs のゴールとの関連をよく意識した取組が実践されていることがうかがえました。次のステップとしては、SDGs の視点を応用して本来業務（＝住民サービス）の充実を図ること、統合性や参画性の高い取り組みに発展させることを意識すると良いのではないのでしょうか。

3. ガバナンス

環境に関する情報公開、参加・協働の促進については、運用の手引きに沿った水準で実施されてきました。コロナ禍により住民参加の行事の多くが実施できなかったことは残念ですが、他の機会を設けたり、次年度の計画に反映したりする動きが一部で見られました。例年通りの学習会・講座が実施できない代わりに、過去の学習会の内容や教材をホームページで公開するなどの代替策をとった自治体もありました。他地域の例も参考にしながら、住民の学習機会を広げていく取り組みを検討されてはいかがでしょうか。

環境ニュースで各ゴールに関して身近な取り組みを紹介するなど、住民に向けた SDGs の情報発信にも積極的に取り組んでいます。役場自身の取り組みと情報発信により、町内の住民・事業者の間にも SDGs の意識と実践活動が広まっていくことを期待しています。

以上

<すぐれた取り組み>

評価	監査部署	チェック項目	回答内容／評価のポイント
◎	総務企画課	M4	町の目標より多くノーマイカーデーを実施している。 【ポイント】独自取り組みについて数値目標を設定し、環境マネジメントシステムの事務局担当課として積極的に活動しています。
◎	総務企画課	G5	ノーマイカーデーを12回に設定した。 役場だよりを簡潔にし、枚数を減らす工夫をした。 紙ファイルやフラットファイルの再利用を周知した。 【ポイント】役場だよりの紙面の工夫により印刷枚数の大幅削減を実現しました。本来業務の中で環境配慮に取り組む好事例です。
◎	出納室	G5	支出伝票などの書類を綴るために、白表紙や綴りヒモを使用している。300冊を超える量であるが廃棄時に再利用できるものは取り外し、再利用している。支出伝票の訂正事項を担当課にお知らせする時に利用する付箋紙も数回再利用している。 【ポイント】資源を無駄なく徹底して使おうとする姿勢が現れています。
◎	給食センター	G5	ごみの分別、リサイクルの実施。残菜はバイオガスパラントで利用、食用廃油は家畜飼料、カシワの落ち葉は堆肥に利用している。 自転車や徒歩により通年で通勤の自動車使用を抑制している。 【ポイント】業務の特性上、多く発生する廃棄物を循環利用しています。落ち葉も堆肥化しており、資源循環への意識が高いことがうかがえます。
◎	子ども課	G5	牛乳パック、トイレトペーパーの芯など廃材を利用し制作したり、段ボールでパズルを作って遊んだりしている。

			【ポイント】身近な廃材を使った遊びは、子どもが楽しみながら学ぶことに繋がり、家庭での取り組みにも波及することが期待されます。
◎	推進本部長 (町長)	A/G 2	集中豪雨等の自然災害が多発しているが、地球温暖化についてしっかり考える必要がある。新食料・農業・農村基本計画で示されている持続可能な農業・農村づくりの推進。
◎	推進副本部長 (副町長)	A/G 2	基幹産業である農業では規模拡大により、高い生産性を誇っているが、環境負荷を低減して生産性を上げる先進的な手法に対し補助を行っていきたい。
◎	推進副本部長 (副町長)	A/G 3	環境についての意見を聞く場は、春と秋の町づくり懇談会を始め、各種審議会等で伺っているほか、町政に対しユートピアメールでも様々な意見が出されている。

<改善が必要>

該当なし

5. 監査実施項目評価結果一覧

視点	設問No.	重点項目	取り組み内容	実施率 (◎/○)	評価 結果
M マ ネ ジ メ ン ト	(本)	協議と指示	首長による定期的協議、適切な指示	100.0%	○
	(事)	事務局の状況	環境に関する取り組みの状況と変更点 マネジメント上の変更点・改良点	100.0%	○
	(事)	庁内のコミュニケーション	環境マネージャー会議の開催 推進本部会議の開催、町長指示への対応 基本方針の周知・指導	100.0%	○
	(事)	教育、研修	環境や環境マネジメントシステムに関する教育の 実施、理解	100.0%	○
	1	各課の状況	業務内容・人員等	—	○
	2	教育、研修等の 状況	環境や環境マネジメントシステムに関する教育の 実施、理解	100.0%	○
	3	課長や職員の認 識の確認	環境方針・目標・組織体制の認識 環境影響の把握 課の業務に応じた環境活動の実施	100.0%	○
A ア ク シ ョ ン	(事)	施設・設備の改 善による省エ ネ・省資源	公共施設における再生可能エネルギー等の導入 施設の新設・更新時における環境配慮設備の検討	100.0%	○
	(事)	地域環境保全や 各課の環境関連 事業・予算の把 握	施策・事業の成果、予算等の把握 環境関連事業の評価	100.0%	○
	(事)	住民や事業者に よる環境活動の 把握	住民・事業者主体の環境活動、協働事業の実施・ 把握	100.0%	○
	1	仕事の改善によ る省エネ・省資 源	省エネ・省資源、節水・排水負荷削減、紙の節 減、廃棄物削減・リサイクル、グリーン購入 公用車使用の負荷低減、通勤時の負荷低減 施設常駐者、出入業者への配慮要請 事前書面調査表に記載の環境負荷・特殊業務の状 況と取り組み	100.0%	○
	2	地域環境保全・ 本来業務での取 組み	S D G s への認識	100.0%	○
	3	環境基本計画に 関わる取り組み	第2期環境基本計画に関わる取組（水環境保全、 森林・農地の保全、生物多様性、廃棄物や有害物 質の排出削減、地域資源の活用、産業育成）	100.0%	○
	4	環境教育・ESD の取組み	環境学習・E S Dの実践内容、取り組み方針 保護者や地域住民との関わり	100.0%	○
ガ バ ナ ン ス	(事)	住民等とのコ ミュニケーショ ン	行政の環境保全に対する施策・取り組みの公表・ 公開 公共事業に関わる環境負荷の情報公開 環境に関する意見・苦情への対応	100.0%	○
	1	住民等とのコ ミュニケーショ ン	行政の環境保全に対する施策・取り組みの公表・ 公開	100.0%	○
	2	住民・事業者と の協働	環境保全事業等への住民参画状況 計画の策定・改定への住民参画	100.0%	○

(本) : 推進本部に対する監査項目

(事) : 事務局に対する監査項目

実施率：監査項目の評価が◎または○の個数の割合が80%以上なら○、60%以上80%未満なら△、
60%未満なら×と評価

6. 部署ごとの総合所見

監査対象	総合所見
推進本部長 (町長)	地球温暖化等、町だけの問題だけではなく世界的な環境問題について考えられていらっしゃいます。頻発する自然災害を踏まえて、適切に現状を把握し、指示を出しています。
推進副本部長 (副町長)	- 基幹産業である農業に関する環境対策に、前向きに取り組もうとしていらっしゃいます。 - 削減目標に対し、達成出来なかった要因の分析など適切に指示を出しています。 - ユートピアメールなど常に町民の意見を聞く場を設けることで、町の環境問題について町民から常に聞く場を設けています。
総務企画課	- ノーマイカーデーに力を入れて取り組んでいると感じます。 - 役場だよりの枚数を減らす工夫等、環境に対しての取り組みを徹底しています。 - 紙ファイルなどの再利用、徒歩通勤など徹底して行っています。
町民課	- 環境衛生担当として、広報紙にごみの発生量の情報を載せ、住民とのコミュニケーションが図られていると感じました。 - 出前講座の活動を通じて分別への理解を、職員だけでなく、住民に対しても周知を図っています。 - お礼状を廃止、裏紙再利用を推奨するなど、ごみの削減を推進しています。
建設課	- 全体的にごみの量が減り、環境への意識が高いことが伺えます。 - 資源の再利用を徹底し、ごみの排出を少なくしようと努めています。 - 受注業者が見える所に環境方針を貼り出すことで、職員以外に対しても周知を図っています。
産業振興課	- イベント開催等が困難な中、その他の業務におけるバイオガス事業やスマート農業の推進等、環境に結び付く業務を行っています。 - 裏紙利用、節電、徒歩通勤など徹底して行っています。 - SDGs活動について、関係機関と協力し積極的に取り組んでいます。
保健福祉課	- コロナ対策におけるオンライン会議への移行等対策、紙の再利用を行っています。 - 職員だけではなく、同事務所で働く社会福祉協議会職員にも裏紙利用、節電等を徹底させています。
議会事務局	- 議会だよりでごみ問題について掲載することにより、町民の環境意識の高揚を図っています。 - 議場などでのコロナウイルス感染対策をしっかりと行えています。 - 裏面再利用や節電について、職員だけでなく町議会議員にも周知を図っています。
農業委員会	- 繰り返し使える布マスクの使用を推奨し、ごみの量を減らす工夫がみられます。 - 使用済み封筒やミスプリントの再利用など紙資源削減に徹底して行っています。 - 紙資源の排出量削減のため、議案等のレイアウトを工夫するなど、業務

	と関連付けて積極的に取り組んでいます。
出納室	・ 資源の再利用を徹底し、ごみの排出を少なくしようと努めています。 ・ 毎月の話し合いにより、目標値の情報共有ができ職員の意識向上につながっている。また、支払い通知書にLAS-Eのロゴを載せることで、外部への周知を図れています。 ・ 外部（農協）との情報共有を行っています。 ・ 従前の業務のやり方にとらわれず、省資源活動を行っています。
子ども課	・ 職員のSDGsに対する意識等現状把握が出来ています。 ・ 自分たちで畑から食物をつくり、食育につなげる取り組みは良い取り組みだと思います。 ・ 牛乳パック、トイレトペーパーの芯など廃材を利用した制作など環境に優しい取り組みを行っています。 ・ 散歩しながらのごみ拾い、廃材を利用した遊具作成など業務の特色にあった活動を行っています。
教育課	・ ごみの分別について、全体的に高い意識を持っています。 ・ 施設管理の委託業者と連携し節電、節水に取り組むことができています。 ・ 参考図書拡充や巡回図書により、SDGsについて学ぶ機会を作っています。
車両センター	・ アイドリングストップなど車両を多く使う施設として効果が大きい取り組みを行っています。 ・ 業者訪問時に呼びかけを行っている点が評価できます。 ・ 洗車時に天候を勘案することで水使用量を削減するなど、業務に関わっての省資源活動を行っています。
国保病院	・ 上下水道、電気の削減を独自目標とし徹底して行っています。 ・ 使用した電気・水道量について情報共有することで、職場全体の意識を高められています。 ・ 関係部署の中でもとくに外部の人間（患者）が多い中で周知に努めています。
発達センター	・ 玄関にLAS-Eの目標を掲示し保護者等に啓発している点が評価できます。 ・ 療育機関として、子どもたちに対して、環境教育を行っています。 ・ ゴミ資源を教材として活用するなど業務の特色にあった取り組みを行っています。
特養ホーム	・ 裏紙の利用や弁当容器の持ち帰り依頼など環境配慮を徹底しています。 ・ 紙資源排出量削減のため、ペーパーレス化や裏紙の再利用を積極的に取り組んでいます。 ・ 持ち帰りにエコバッグ使用を依頼することでプラゴミ削減に努めています。
士幌小学校	・ 自分たちで畑から食物をつくり、食育につなげる取り組みは良い取り組みだと思います。 ・ 関連する図書を図書室に集め、PRすることで児童への意識づけしたのは、評価できます。 ・ ごみ処理場見学を行うなど、児童たちに対して積極的に環境教育を行っ

	ています。
中士幌小学校	・ 教育機関として、児童たちに対してごみ分別を徹底させるなど環境教育を行っています。 ・ 節電などの取組を徹底出来ています。
上居辺小学校	・ 先生や生徒だけではなく、地域と合同でごみ拾いを行い、地域全体で環境保全の意識を高められています。 ・ 環境活動への意識を徹底しています。また働き方改革を心掛け残業等を減らすことによってエネルギー削減に繋がっています。 ・ 校内掲示等により児童や来校者へ周知を図っています。
中央中学校	・ 教材のペーパーレス化を図ることで、資源保護に努めています。
高校	・ 持参したレジ袋を使用するなど、環境に配慮した行動に取り組んでいます。 ・ 教育機関として、教員と協力して生徒に環境教育を積極的に行っています。 ・ 通知等の電子化でペーパーレスを進めています。
給食センター	・ 納入業者などに協力依頼している点が評価できます。 ・ 業務上排出される廃油等だけでなく、落ち葉もリサイクルし再活用できています。 ・ たよりに記載するなどして、職員だけではなく児童等に対しても地産地消の情報を発信しています。 ・ 残菜の燃料化や地産地消情報の発信など、業務の特色にあった取り組みを行えています。
事務局	・ コロナにより例年と違う形式の監査になったが、その中で書面開催にする等工夫が出来ていました。 ・ 環境ニュース掲載等により、町民への周知を図っています。